



第6章 計画の実現に向けてのそれぞれの役割

基本理念を達成するためには、各々がその役割を果たしていくことはもちろんのこと、相互に連携を密にし、一体となって施策を展開していくことが必要です。

1 県民

- 県民は、先人から引き継いだ本県の青い森を守り育て、健全な姿で子孫に引き継いでいくため、森林とのふれあいを通じて森林や林業の大切さを知り、森づくりへ参加することが望まれます。
- 人と環境に優しいという特性を持つ木材を利用することが本県の林業や木材産業の活性化を促し、森林の公益的機能の発揮にも貢献することを理解し、県産材を積極的に利用することが期待されます。

2 森林所有者

- 森林所有者は、森林が木材の生産や公益的機能の発揮を通じて、生活や環境を守っているということを理解し、その森林の多面的機能の確保を担う者としての自覚と誇りを持って、森づくりに取り組むことが必要です。
- 森林は、県民共有の財産として、多くの県民に支えられているということを理解し、子どもたちの環境教育や自然とのふれあいの場としての活用に協力することが望まれます。

3 林業・ 木材産業 関係者

- 林業関係者は、最も自然に近い、林業という産業のすばらしさや辛さ、長い経験の中で培った技術を新しい担い手に引き継いでいくことが望まれます。
- 木材産業関係者は、豊かな自然の恵みであり、人と環境に優しい天然素材である木材を消費者に利用してもらうため、県産材の積極的なPRを通じた需要拡大の取組みが求められます。

4 森林組合

- 森林組合は、地域の森林を守り育てていく技術集団であり、リーダーです。
森林を最も良く知り、多面的機能の維持・増進や持続可能な森林経営の先導的な担い手として、また、森林所有者のための組合として、地域の森林・林業の活性化に向けた積極的な取組みが期待されます。

5
市町村

- 市町村は、森林・林業・木材産業が果たしている多面的機能や地域経済を支える役割を評価し、将来へ引き継いで行くことが必要です。
- そのためには、それぞれの地域の特性に応じて、森林所有者、住民、企業などの理解と協力を得ながら独自の施策を講じ、森林の整備、林業・木材産業の活性化、森林文化の保存継承などに取り組むことが求められます。

6
県

- 県は、青森県の森林・林業・木材産業とそれを担う山村の理想的な姿を将来像として掲げ、県民の理解を得ながら、関係団体や市町村、国と連携を密にし施策を展開していきます。
- そのためには、本県の実状を的確に捉え、地域の特性を活かした自主的な創意と工夫により、100年後、300年後を思い描き「基本理念」の達成に向けて、強い信念を持って積極的に取組みを推進します。

- その推進にあたっては、林業関係部局はもちろんのこと、教育、環境生活、県土整備、企画振興など、それぞれのセクションが横のつながりを強化して進めることが必要です。

7
国

- 国は、森林の公益的機能の発揮と林業・木材産業の振興のため、地方の実状を踏まえ、地域の創意と工夫が活かされる施策を構築していくことが期待されます。
- また、本県の森林面積の6割を占める国有林については、県民の期待や要請に適切に対応し、民有林と一体となったヒバやブナなどの郷土樹種によるふるさとの森づくりや産業の振興、住民の福祉の向上を旨とし、県民に開かれた適切な管理経営を行っていくことが望まれます。

8
公団・公社

- 緑資源公団及び財青い森振興公社は、公的機関として森林等の適正な整備を推進し、水源かん養や山地災害防止などの公益的機能に優れた森林を育成するとともに、地域の振興に資することが期待されます。
- また、青い森振興公社は、ボランティア活動の仲介役などを通じ、里山林の整備など新たな形の森林整備を推進することが求められます。